

庄内緑地の管理運営状況

1 基本情報

<所管局：緑政土木局>

指定管理者名	名古屋市みどりの協会・ミズノグループ		
主な業務内容	庄内緑地の管理運営業務		
施設の所在地	名古屋市西区山田町大字上小田井字敷地3527		
評価対象期間	令和2年4月～令和3年3月	指定管理期間	平成30年4月～令和5年3月

2 評価結果

		評価項目	評価区分	特記事項
管理体制及び協働	1 管理体制	職員配置 緊急時の体制 人材育成等	○	新型コロナウイルス対策を適切に実施した。ツバキやウメの剪定、サクラの保護等、公園の維持管理に適した研修を積極的に受講している。また、コロナ禍でボランティア活動が制限される中、可能な範囲で活動するとともに新しいスポンサー花壇も設置された。
	2 協働	市民等との協働		
維持・管理運営等	1 維持管理	園内清掃	◎	施設の老朽化が進み、修繕の必要な施設が増える中、優先順位をつけて計画的に修繕を行った。除草・芝刈り等に関し、水準以上の維持管理を行うとともに、BBQシーズンには重点的に巡視・清掃を行うなど園内美化に努めた。また、課題となっているハナショウブ園の給水路を整備したり、過密状態の樹木について再生計画を策定するなど、課題意識を持って維持管理に努めている。
		建物・設備の管理		
		保守・点検・修繕		
		植物管理		
		管理水準の維持		
		関係書類の調製・保管		
	2 運営管理	利用者アンケートの実施	○	テニスコートのクラック修繕やドッグランのフェンス嵩上げ、グリーンプラザ内男子トイレの洋式化など、利用者のニーズを反映した修繕を行った。また、BBQについては、「手ぶらでBBQ」やゴミ回収等のサービスを充実させ、近年課題となっていた近隣住民からのゴミに関する苦情がなくなったことを評価したい。
		利用者ニーズの把握と反映		
		利用者サービス向上策		
		接客・接遇向上の取組み		
		苦情・要望に対する適切な処理		
		個人情報の適切な管理		
	3 この施設特有の管理	緑の普及・啓発事業への取組み	○	施設の特性を活かして多様なスポーツイベントを開催。スラックラインやロゲイニング等独自のコンテンツを取り入れている。スケートパークの利用者が順調に伸びており、登録者数が約1万人を達成した。また、イベント実施の際には、施設を安全に利用するための啓発を取り入れて開催している。
めざす公園像への取組み				
4 魅力増進・利用促進	魅力の増進策	○		
	イベント等の実施			
	講習会等の実施			
	利用者への広報・情報提供の実施			
5 収納金の処理業務	現金等の取扱い	◎	還付事務が増大したが、適切に現金の管理、書類の作成等が行われた。	
	関係書類の調製・保管			
自主事業	1 自主事業	事業計画に基づく自主事業の実施	○	新型コロナウイルス対策に伴う施設の閉鎖等により収益が減少する中、全体計画の見直しを行い収益還元金を確保した。出庫口と精算機を増設し、駐車場出庫渋滞緩和に大きく寄与した。
		集客対策への効果		
		自主事業の収支及び還元		
		便益施設の管理運営		
収支	1 収支	経費節減策	○	
		年間収支		
その他	1 その他	法令・協定の遵守	○	
		事業計画との比較分析		

【総合評価】

広大な敷地を活かしながら、水準表以上の除草を実施するなどして園内を快適な空間として保持することにより、コロナ禍における利用者ニーズに応じており、結果として昨年並みの入場者数が維持された。各種スポーツ系のイベントやコンテンツの導入、手ぶらでBBQなど、施設の特性を生かした利用拡大も図られている。

また、駐車場の出庫渋滞改善や長寿命化を図るための公園灯修繕台帳の新規作成とそれに基づく修繕の実施など、施設の課題改善に取り組んでいることを評価したい。

SNSのフォロワー数が着実に伸びていることから、公園の利用促進につながる情報発信をさらに進めるとともに、今後は、講習会と展示会の現状の評価を行ったうえで、新たな企画へ積極的に入れ替えるなど、さらなる緑の普及啓発と公園の利用促進を図りたい。

施設の現状

庄内緑地

施設の現状	施設概要							
	<p>庄内緑地は、庄内川の小田井遊水地を利用した公園で、昭和43年12月の都市計画事業認可以来「水と緑と太陽」をテーマに、野趣あふれる総合公園として整備を進めてきました。市内有数の芝生広場を中心に、わんぱく広場、バラ園、ピクニック広場、サイクリングコース、ボート池、大噴水、シンボルツリー(ケヤキ)などのほか、有料公園施設であるテニスコート、陸上競技場、ゲートボール場があり、多目的に利用されています。</p> <p>庄内緑地内にある庄内緑地グリーンプラザは、余暇時間の増大、高齢化社会の到来など社会情勢の変動に伴い、健康の維持増進や緑への関心が高まっている状況を踏まえ、庄内緑地の核となる施設として建設されました。庄内緑地グリーンプラザには、室内広場が整備され、緑豊かな環境の中で、自然とふれあいながら健康運動を行うこともできます。</p>							
	市の収支状況(千円) (2年度決算(見込)額)							
	支出			収入				利用料金
	指定管理料	その他	計	使用料	その他特定財源	一般財源	計	
	140,464	-	140,464	9,478	-	130,986	140,464	-
	特記事項							
	管理運営指標の状況	取組状況						
		指標	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
講習会受講者数		人	5,720	5,251	5,140	2,048		
入館者数		人	436,948	430,810	440,171	389,683		
特記事項								

※支出のうち「その他」欄は、経常修繕費等を記載